

2023.11.2 (木)
第 17 回例会
(通算3732回)

2023-2024 年度 釧路ロータリークラブ会報

会長スローガン「地域を愛し、未来を語る ロータリーの輪を広げましょう」

第85代会長 後藤 公貴
副会長 樋口 貴広
幹事 佐藤 貴之
編集責任者 クラブ会報・雑誌委員会

例会日 毎週木曜日 12:30～13:30 夜間例会 18:00
例会場 釧路センチュリーキャッスルホテル
事務局 釧路市錦町 5-3 ミツ輪ビル 2F
☎ 0154-24-0860 📠 0154-24-0411

2023-2024 年度
国際ロータリーテーマ



世界に希望を生み出そう
2023-2024 年度
RI会長 ゴードン R. マッキナリー
第 2500 地区ガバナー
鶴見 誠一郎 (叙別港 RC)

月間テーマ ロータリー財団月間

本日のプログラム 「RYRA セミナー報告会・地区補助金事業報告会」(青少年奉仕委員会)

次週例会 「情報集会報告会」(クラブ研修委員会)

- ロータリーソング：君が代・奉仕の理想
- ソングリーダー：横田 英喜君
- 会員数 103 名
- ビジター 東興電機工業 椎野 千夏様・ // 村田 陽菜様
- ゲスト

会長の時間

後藤 公貴会長

皆さまこんにちは。夏も終わりました。短い秋も終わって、もう冬だなというところに差し掛かっているところで



す。本日は私の業界の話をさせていただければと思っております。

皆さんもご存じのとおり、釧路で、最近では最大のイベントと言っていいでしょうが、「釧路大漁どんぱく」が10月14日から15日まで開催をされました。そこで10月12日にこの「大漁どんぱく」の開催当初から前夜祭という形で「釧路末広はしご酒大会」を私ども業界組合が中心となって企画・開催をしております。今年度は17回目として4年ぶりに再開をさせていただきました。参加店数が今まで過去最高の103店舗を数えました。103店舗ということは、2,000名強のお客様をお迎えできる態勢を整えたといったところです。おそらく参加店が過去最高だったことに関しては、特に若い経営者の方たちがコロナ禍で疲弊している中、「やっぱりみんなで元気を取り戻そうよ」「僕らも参加して街を盛り上げよう」、こんな気概を持って参加をしていただいたのかなと思います。

過去17回やっていて、一度も苦労したことがなかつ

たのはチケットの売券だったのです。チケットを売ることにに関してこんなに効率のいい、開催の3日前になるとプレミアムチケットのように私にも電話がかかってきて、「おまえにも何ともならないのか、力がないな」とまで罵倒されながら、「すみません。50枚程度ですけど当日券を用意しておりますから」と言い訳をしていたものです。

実は4年ぶりの開催にあたって、2,200枚ぐらい用意していたのですが1,600枚しか売れないという事態に陥りました。残りの2日間と当日で少しは盛り返したのですが、参加する方の気持ちと参加店の気持ち

が少し乖離したのが現実でした。いろいろ原因はあるのかなと思うのですが、どんぱくの開催が10月にずれて、少し肌寒い中での開催で少し敬遠されたのかなというところ。また4年ぶりの開催ということで告知自体が上手くいかなかったのか、などいろいろ挙げられるのですが、私が懸念しているのはこの3年間のコロナ禍による生活習慣の変化で「歓楽街に行って心の洗濯をしましょう」とか「少しみんなで盛り上がりましょう」という機運、癖付けがなくなったのかなと思っています。さいわい、食べ物屋さんの所は観光のお客様も割と多く訪れているので、コロナ禍の水準前に戻りつつあるのですが、2次会以降のお店、いわゆる飲み屋さんと言われるお店が非常に苦戦をしています。はしご酒の

チケットだけでいいと、2割のお客様が黙って居なくなっている現実ですから、これから始まる忘年会・新年会シーズンにどんな影響が起こるのかが非常に不安なのです。

当日の様子を見ていても、前は15人とか20人のグループが「俺、こっちのコース行くから」「おれはこっち」などと話し合いながら最後に集まって、またドガンと末広に来るみたいな流れがあったのですが、今年に関しては、大人数で動いている方たちが本当に少なかったです。少人数のグループの中で割とこじんまり楽しんでいるという空気だったのです。

何が言いたいか申しますと、この中の皆さんも「あー、3年前はよく出ていたな。最近なかなか出ていないね」という方もたくさんいると思うのです。会社の中でも「今日ちょっと一杯飲んでいくか、天気良いから」とか、「今日良いことあったから」という方もいらっしまったのが、「一軒だけで。今日ご飯食べて2次会はやめておこうか」の流れになっているのではないかと思います。

私たち末広歓楽街の人間は、皆さんの心に潤いを与えるのが仕事だと思っています。みなさんで私たちの従事する末広歓楽街を盛り上げていただいて、そして次の日の仕事やこれからの糧につながるような楽しさを味わっていただいて、なんとか街の活力につながっていただきたい、と思っているわけでありまして、もし、忘年会や新年会をお考えではない企業の方がおりましたら、どうぞ大人数で積極的に行っていただいて、安心・安全な末広町に来ていただければと思っております。

少し長くなりました。最後になりますけれど、本日お見えになっているお客様によるライラセミナーの報告会、地区補助金を活用した釧路湿原ツアーの報告会となります。どちらも人間形成、そして青少年育成をポイントにした事業であります。ぜひわれわれが尊い事業をやっているところを再確認していただく有意義な時間にしてまいりましょう。

本日一日、どうぞよろしくお願ひ申し上げます。

幹事報告 佐藤 貴之幹事

皆さん、こんにちは。幹事報告になります。2点ございます。まず今月のロータリーレートになりますが149円。先月と同じ水準となっております。続きまして第4回理事会・議事録を掲示板の方へ掲示しております。ご確認の方よろしくお願ひします。

■本日のプログラム■ RYRA セミナー報告会・地区補助金事業報告会

青少年奉仕委員会 曾我部元親委員長



皆さん、こんにちは。私から北見で行われたライラセミナーの報告をさせていただきます。

2人がすごく緊張しているもの

ですから僕も緊張が伝わってきて、皆さん、和やかな感じで行きましょう。

まず場所は、北見の『もいわスポーツワールド』という所です。北見の駅から留辺蘂方面に30分ぐらい行った所です。非常に大きな施設で、サッカーコートが天然芝で4面。テニスコート、パークゴルフ場、それ以外にはセンターハウスと言われる大きな施設。この中にレストランがあってそこが会場となっております。さらには焼き肉ハウス、そして宿泊施設があります。行ったことのある方もいるかもしれませんが、僕は初めて行ったのですが非常に素晴らしい施設で、夏は大学のラグビーが合宿に来たりするすごい施設だなど、ビックリしました。

今回、参加された青少年は50名です。釧路ロータリークラブからは、先ほど会長からご挨拶がありました東興電気工業の椎野さんと村田さんのお二人です。そして、吉田潤司パストガバナーと佐藤幹事の4名が参加をしております。僕と小野寺副委員長が送迎役ということで、泊まってはいませんが送迎を担当させていただきました。

今回は参加者を募集するにあたり、かなり苦勞をいたしました。その中で快く参加をいただいたお二人には、「どんぱく」の花火もあったので何か用事もあったのかなと思うのですが参加されたお二人に感謝申し上げるとともに、休日出勤という形で参加をさせていただきました東堂社長には委員会を代表して心より厚くお礼を申し上げたいと思います。本当にありがとうございます。

今回の内容につきましては、この後お二人から報告があります。その後、佐藤幹事作成によるDVDが流れますので、最初は二人の話を聞きながら次の写真と画像がいっぱい出てきますのでそれと照らし合わせていただければと思います。

それでは早速、お二人から報告をしたいと思います。お二人はご登壇をお願いします。皆さん、拍手をお願いします。

ちゃんと国旗に礼をさせていただいております。素晴らしいです。最初は椎野さんから報告をお願いします。

株式会社東興電気工業 椎野 千夏様

皆さん、こんにちは。株式会社東興電気工業・総務の椎野です。



この度はライラセミナーに参加させていただきありが

とうございました。さらに当日、曾我部社長、小野寺社長には実施期間は道中の運転など大変お世話になりました。この場をお借りして感謝申し上げます。

今回のライラセミナーでは「自らの心に希望を取り戻す」というテーマの下、同世代の様々な業種の参加者と意見を交換してまいりました。セミナーでは大きく二つ、基調講演とグループディスカッションで取り組みが行われました。

まず基調講演の方では、登山家である野村様より経験談ややりたいことに対しての向き合い方などのお話をさせていただきました。その中でも特に心に残っていることは、やりたいことへの向き合い方のお話で、「最初から高い目標ではなく、まずは自分ができるところから始めてみる。そうすればうまくいく方向に転がっていく」と言っていたのがとても印象的で自分自身を振り返ってみると、何かを始める時に張り切って高い目標を決めてしまっているなど実感しました。

そして、もうひとつ、野村さんは登山のお話をされている中で、一回も辛かったという言葉は言っていませんでした。きっと辛かった場面もあったかと思いますが決して私たちにはそのような場面を見せることなく、むしろ辛いことすら楽しんでいるように見えました。「登り切った時の景色は何よりも最高だ」と言っていました。その姿がとても格好よく、私の心に深く残っています。そして、何事にもまず挑戦すること。失敗を恐れず、それすらも楽しみ、前に進み続けることを学びました。

その後、グループディスカッションでは7グループに分かれ、テーマごとに話し合いをしました。

ひとつ目のテーマ「急激な社会変化で思ったこと」では、一番多かったのは「コロナが流行ったことで、いろいろなことが制限され窮屈な生活になってしまった」ということでした。プラスの面では、「プライベートな時間が増えて趣味が多くなった」という意見や「家族との時間が増えた」などの意見も挙げられていました。

皆さんはこのコロナで何を感じられたのでしょうか。私はこの社会変化に対してもう少し違った対策方法はなかったのかなと感じます。

日本がまだ自粛生活している中、海外ではマスクを付けていなかったり、いつも通り買い物をしたり、仕事に行ったりと普段通りの生活ができていましたが、

日本では自粛生活が長引き、仕事に行けない、学校に行けない、買い物にも行けないし行っても買いたい物の個数に限りがあるなど、かなり制限のある暮らしを送っていたと思います。今はだいぶコロナも落ち着き、だんだんいつも通りの暮らしに戻ってきていますが、コロナで亡くなった方や卒業式や修学旅行などの行事がなくなってしまった学生たち、他にもたくさん被害はありますが、それらのこと忘れずに今後また同じようなことがあった時には最善の対策をしてほしい私は思いました。

次のテーマ「希望を持ったとき、失った時」では、「朝が来ると絶望を感じる」という意見や「友だちが頑張っていると自分も頑張れる」という意見など、私のグループは個性豊かで面白いグループでした。その中で、私のグループが出したまとめは「毎日が希望となるような生活」です。なぜこのようなまとめにしたかというと、みんなの意見を聞いた時に、絶望は考え方を換えれば希望になると思ったからです。朝が来て、楽しみがないのであれば作ればいいし、何かにつまずいて転びそうであれば、助けてあげればいい、というサイクルを送れば人は誰でも希望を持つことができると思いました。

登山家である野村さんも言っていたように、小さなことでも自分のできることからしかり歩み続ければ叶うところにつながってくるのではないかと私は思います。

このセミナーをとおして、ひとつ違う考え方を持つことができる少し成長できたのではないかと感じました。そして、このセミナーで新しい仲間に出会い、交流ができたことをとても嬉しく思います。

改めましてこの度ライラセミナーに参加させていただきありがとうございました。

以上で発表を終わります。

株式会社東興電気工業 総務 村田 様



こんにちは。同じく東光電機工業・総務の村田です。本日はよろしくお願いたします。

はじめに第40回ライラセミナーに参加

させていただきましてありがとうございました。また、セミナー実施期間、小野寺社長・曾我部社長には道中の運転など大変お世話になりました。一緒に食べたお蕎麦と豚丼はとても美味しかったです。この場をお借りして感謝申し上げます。

報告を始めるにあたり、このセミナーの概要について説明をさせていただきます。セミナーでは主に2点のプログラムに取り組みました。1点目は登山家・登山

ガイドの野村良太さんによる「積雪期北海道分水嶺縦走」をテーマにした基調講演。2点目は「急激な社会変化で思ったこと」「希望を失った時」と「過去と現在、自分自身を見つめ希望を見いだすには」という3つのテーマについてのグループディスカッションに取り組みました。

野村さんの講演では、「登山での経験や高い目標を目指すより自分にもできそうなことにまずは挑戦をすることが大切」というお話をされていて、とても感銘を受けました。時には上を目指す、高みを目指すことも大切だとは思いますが頑張り過ぎず、まずは自分のできそうなことから取り組むと自分の精神面なども安定し、その物事ができたのなら少しずつ自分にも自信がついてくるのかなと野村さんの言葉を聞いて思いました。



グループディスカッションでは、釧路以外の方々と交流する機会がありませんので貴重な経験ができました。それぞれ様々な

職種の人たち7人で1グループになり、急激な社会変化で思ったことを話す機会では、コロナについての話が多く出ました。それぞれの職種によってコロナの影響で仕事が減った、逆に増えた人もいました。仕事以外での意見では、「自粛期間の外に行けない時期で、お家での楽しみを見つけた」などマイナスの部分だけではなく、プラスの部分などをみんなで考え意見交換をしました。

別のテーマ「過去と現在、自分自身を見つめ希望を見いだすには」の話し合いでは、絶望の瞬間、例えば仕事で大きなミスをしたなど。それに対して希望を持った時、前にできなかった仕事ができるようになった時、仕事でミスが減ったなど、このように絶望があるから希望を持つことができる。その二つはつながっていることに気付きました。絶望をしたからといって落ち込むだけではなく、絶望と向き合うことで成功・希望につながると改めて実感しました。

日常生活ではここまで深く考えることはないので普段の生活や仕事など様々ことで絶望・失敗もあると思いますが今回のライラセミナーに参加させていただいたからには今回の経験を活かし、どんな状況も乗り越えて行きたいと思えます。

先ほどもお話をしましたが、職種も出身地もバラバラな初めて会うセミナーのメンバーと多様な意見交換ができたのは本当に良かった。楽しかった思い出、経験となりました。参加させてくれたロータリアンの皆さま、ありがとうございました。

そして、最後にもう1点、お話したいことがあります。

この北見での研修をとおして釧路以外の社長の方々を拝見しましたが、やっぱりうちの社長が一番だなと思いました。年齢が上の方々と話が合うのはもちろんですが、私たちのようなZ世代の扱い方はピカイチです。本当に最後になりますが、今回、学んだことを生かして頑張ってください。ご清聴ありがとうございました。

(動画 鑑賞)

青少年奉仕委員会 曾我部元親委員長

皆さま、ご苦勞様でございました。最後の一言だけ締めたいと思います。

21歳と26歳の娘を持つ僕としては、二人の発表を聞いて自分の娘が喋っているような気持ちで感動していました。小野寺君とも話をしたのですが、道中、車で行くときに最初はどんな子が来るのかな、話ができるのかな、と思ったのですが、本当に二人が明るくて僕も小野寺君も楽しい送迎となりました。本当にありがとうございます。

それと、冒頭に集めるのを苦勞したと言ったのですが、コロナが明けて皆さまの企業はお忙しいことと思います。また働き方の問題で、なかなか社員が出せないという方もたくさんいらっしゃると思います。

ここにいるお二人のように、行けば必ず掴んで来るとお思いますので、来年、お声か掛かったらぜひ社員を出していただければ、ということで締めの挨拶とさせていただきます。本当に皆さまありがとうございました。

『地区補助金報告会』

奉仕プロジェクト委員会 岩田 信一委員長

皆さん、こんにちは。社会奉仕委員会地区補助金事業報告をさせていただきます。今日、委員長の方は諸事情のため欠席ということで私が司会をさせていただきます。それでは時間がありますので木下さんより地区補助金事業の趣旨説明の方をよろしくお願ひします。



木下 正明会員

皆さん、お疲れさまです。ライラセミナーの二人が大変立派なご報告をされたので、私も少しビビっております。

「釧路湿原の魅力を再発見する学びのツアー」をさせていただきます。日にちは10月21日の土曜日と22日の日曜日です。

地元の小学生に「タンチョウを見たことがあるか」「ま

りもを見たことがあるか」「湿原に行ったことがあるか」のアンケートをとると、7割から8割の子が「タンチョウもまりもも見ることがない」「湿原に行ったことがない」という結果になりました。地元の良さを知らないで外に出てしまうのは、とても不幸なことだと思いますし、今後は地元で観光人材が必要になるなかで、地元に残っていただいて地元で活躍して行く子どもたちを健全育成しないといけないという趣旨で、後藤会長の下でこの事業を展開しております。

今回は清明小学校と鳥取小学校の小学生に出迎



きました。土曜日は子どもたちが37名、教育大学のグループリーダーなどに参加していただきました。あと、東京から教育関係の専門家に

来ていただきまして実習をしました。佐渡ガバナー補佐にもご挨拶をいただいております。釧路ロータリークラブからは、土曜日はこのような感じです。

日曜日は参加の子どもは少なかったですが鳥取小学校から7名、今度は内容が濃い見学になりました。釧路ロータリークラブからこのメンバーが参加しております。

行程ですが、鳥取地区から全部が20分以内にある観光資源になります。これに北斗遺跡を入れると5カ所くらいの観光資源が近隣にありますので、空港に着いて、ここを回って夕日を見て、鱈さんで炬燵を食べ、宿泊するコースが出来上がるという設定になっております。それを子どもたちに体験をしていただきまして、去年は外国人の方にも何人か参加していただいております。

この順番で行っていますので見ていただければと思います。

まず、湿原展望台に行っていました。釧路市の横に、すぐ湿原があることを上から見えます。湿原の大きさを感じられる場所になります。

次に進んで、下がって行くと湿原の中を歩ける温根内のネイチャーセンタ、木道がありますのでそこを散策します。佐渡ガバナー補佐にご挨拶を。右の奥の方に小さくいらっしゃいます。子どもたちが40人弱いますので、こんな感じです。

新庄久志さんです。「ブラタモリ」でも有名になりましたけども、ご説明をいただいております。下にクマザサが生えていますけども、「クマザサの高さまでしか雪は積もらない」とかのお話があって、「たくさん雪が降る所はクマザサの背が高い」と。いろいろな自然の素晴らしさ、不思議さを教えていただいております。

右から2番目3番目、男の子が2人いるのですが、川

本さんのお孫さんです。清明小学校で参加いただきました。ロータリアンのお孫さんにも参加していただいているのは素晴らしいと思います。

木道を歩いて、都会の方がここに来ると大自然なのですごく感動して帰られます。ぜひ子どもたちに体験していただきたい所です。清明小学校でアンケートをとりましたら、「来たことがある」という子は1人か2人しかいませんでした。このように木道で寝転がって空を見ました。こういうことも新庄さんがいましたから行いました。

楽しいな昼食は、鹿肉のカツカレーと阿寒ポーク、2日間別々なメニューでした。

猛禽類医学研究所に行ったことのある方、ここにいらっしゃいますか。地元の方もほとんど行ったことがないと思います。ここはケガをしたオオワシとかタンチョウを治療する所なのです。治療するには環境省からお金は出りますが、その後、社会復帰ができない・自然に帰れなくなった鳥類を飼っているのです。それにはお金が出ないのでみんなから寄付を集めて飼っています。その飼っていることで鳥たちを輸血に使ったり、電信柱の上に鳥が止まらないように仕組み・装置を作ったら、止まるか止まらないかを試したり、いろいろ有効活用してこの施設を運営しております。環境省が観光振興を少し考えているので、新しくして飼っている鳥たちを見ることができるようになっています。

ここで子どもたちは生態系の勉強をして、「ハイタカが1羽いたら、何百ヘクタールの土地が必要だよ」「1年間で食べるシジュウカラが何羽いないと困るよ」、そういうのを勉強します。裏にバックヤードツアーという施設があります。オオワシとかオジロワシが、片羽根がなくなって自然に帰れないものがたくさんいて、これを飼うだけではなくて有効活用している所です。

今回、特別に手術室も見せていただいて、子どもたちもたくさん質問をして、多い子は10個くらい質問して、「輸血はどこからするのですか」「鳥インフルエンザの影響は」など大人顔負けの質問もありました。あと、骨の標本を見たり、いろいろ勉強させていただいて、この子どもたちの中から獣医さんが出たらいいなと思います。

大事なことは振り返り学習なので、戻って教育専門家の方に仕切っていただきました。子どもたちをほめることから始めて「みなさん、立派に見学してきましたね」、「楽しかったことをいくつか挙げてください」ということで、子どもたちにこのように発表してもらいました。

これは釧路ロータリークラブで2年前の3月17日に講演していただきました生重幸恵先生、教育界の重鎮の方です。立っている男の方は数学検定協会理事長の

高田忍さんです。これもロータリーの数学検定 3,600 人分の寄付をしていただきましたけれども。見づらいですが、19 個の楽しかった



ことを書いた子もいます。鳥の絵を描く子もいます。こんな形で振り返り学習をして発表していただきます。

最後ですが、2 日目はテーマを変えて発表は楽しいことではなく「新しい発見を 3 つ挙げましょう」と言った時、最後の子は「バスで寝れたこと、木道で空を見て寝れたこと、後ろで大人が疲れて寝ていたこと」と。きちんと 3 つ並べて批判をされまして、「どうも申し訳ございませんでした」ということで、子どもたちと有意義な 1 日を過ごしてまいりましたという報告です。以上です。

奉仕プロジェクト委員会 岩田 信一委員長

以上をもちまして報告とさせていただきます。

私も参加しましたがけれど、58 年、初めて湿原を歩きましたけれどすごく楽しかったです。ホントにいい体験をさせていただきました。ありがとうございます。

本日のニコニコ献金

- 青田 敏治君 米山記念ゴルフチャリティーコンペで優勝しました。
- 東堂 光春君 娘が所属する仙台の常盤木学園高校が女子サッカー東北大会で優勝し、娘も FW として 2 得点の活躍をし、全国大会出場を果たしました。

今年度累計 140,000 円